

令和2年度 事業計画

1. 基本方針

令和元年度は、村山市シルバー人材センター設立以来の深刻な財政危機であるという認識のもと、財政再建に取り組んできたところです。

まず収入ですが、当シルバー人材センターでは、会員の就業収益が大きな財源となっております。働く意欲のある会員の確保がすなわち就業実績の伸びになっていきますので、今年度も会員拡大のため新入会員説明会、「村山SC通信」の発行、市の広報、ホームページでのPR等を実施してきました。

しかし、毎月の説明会に参加者はいるもののなかなか入会にいたらないというのが現状です。会員不足が就業実績の低迷の大きな要因になっているため、今年度の反省を踏まえ、令和2年度も会員の加入促進には最大限の努力をしていきたいと思えます。

このように財政が逼迫するなかで、市当局におかれましては、シルバー人材センターの活動に十分ご理解を示され、今年度も補助金交付をはじめいろいろとご支援、ご指導いただきましたことに感謝申し上げる次第です。

また、他の収入については、今年度も「高齢者活性化事業」を実施し、補助金の交付を受けております。来年度は、この事業だけではなく他の補助事業の活用も考えていきます。

一方、支出では、収支改善のため、事務局職員の給与を削減したところです。ただ今回の給与削減では短期的な改善効果しか見込めず、組織の健全経営にはさらなる努力が必要です。それに加えて、令和5年から消費税改正に係る「インボイス制度」が導入予定です。これにより、シルバーの事業運営に大きな支障をきたすことがないように、制度運用ができるように、全シ協を中心とした国への働きかけが望まれています。

今年度は、財政再建へ以上のような努力を積み重ねてきました。年度末をむかえ収支が確定しつつありますが、財政の立て直しは、まだ緒についたばかりで、容易ではありません。

令和2年度も元年度に引き続き、事務局員を一部刷新します。役員の変更の年でもあります。「継続は力なり」でいままでやっきたことを踏襲していくことも無論大事ですが、このような困難な状況には、時には思い切った、大胆な試みも必要かと思えます。会員皆様の英知を総結集して、この難局を乗り越えていきましょう。

2. 事業実施計画

(1)会員の拡大

本市の老年人口割合は年々高くなっているにも係らず、会員数は減少しており、事業運営に深刻な支障をきたしております。

健康で就労意欲のある会員はシルバー人材センター存立の基盤となっており、会員確保に最大限の努力をしていきます。

- ① 会員及び事務局が一丸となって、加入を促進します。
- ② 会員のロコミをはじめ、市の広報、村山シルバー通信、ホームページ、会議、地域の寄合等、多様な手段によるシルバーのPRとそれによる新たな会員の拡大に努めます。
- ③ 全国的に女性の入会に伴って男性も入会する傾向があるので、女性会員の大幅な拡大を推進します。
- ④ 入会説明会を定期的に行い、健康で就労意欲のある会員の拡大に努めます。
- ⑤ 入会希望者に対する、迅速な入会承認及び新入会員への早期の就業機会提供に努め、退会者を抑制します。
- ⑥ 会員の就業率を高め、健康意識を醸成することにより、退会者の減少に努めていきます。

(2)就業機会の確保と関係機関との連携

就業機会の確保は、会員の拡大と並びシルバー人材センターの最重要な課題となっております。

受注契約の顕著な伸びを実現するには、組織を挙げた取り組みが必要です。

- ① 就業機会が多い官公庁等との連携を強化するとともに、新たな事業所等も訪問し、就労開拓に努めます。
- ② 今後、需要が見込まれ、行政と連携できる新規事業についても、積極的に取り組んでいきます。
- ③ 会員自らが就労等により地域からの仕事の開拓を進めます。
- ④ 会員の多様な働き方の拡充として、派遣事業を推進します。
- ⑤ 会員の拡大と並行して、多様な手段によるシルバーのPRを行い、就業機会を確保していきます。
- ⑥ 就業に困難が発生した場合、山形県シルバー人材センター連合会の指導のもと、迅速な解決を目指します。

(3)安全・適正就業の推進

安全就労はシルバー事業の根幹であり、組織的な取り組みをなお、一層推進し、重

篤、障害事故の根絶を図らなければいけません。

- ①安全・適正就業推進委員会を随時開催し、就業現場を巡回し、適切な指導助言を行い会員の安全意識の向上に努めます。
- ②研修会や講習会等を開催し、安全就労を啓発していきます。

(4)地域貢献活動の実施

公益社団法人としてまた市、国からの補助金受給団体として、地域でのボランティア活動は欠かせないものです。元年度は、計画したものの未実施に終わったしまったボランティア活動を令和2年度は実施します。

(5)組織体制の充実強化

村山市シルバー人材センターは、事務局員のみならず役職員、一般会員の皆様から当センターへの多くの意見や提案がなされ、そして会員ご自身が自発的な活動することを望んでいます。

① 会員、役職員研修の実施

関係機関等が開催する研修会や講習会等に参加し、シルバー人材センターの会員としての自己啓発や各種技能技術の習得に努めます。また、会員をリードする役職員としての意識の向上に努めます。

② 各専門委員会、地域班活動の推進

組織活動の活性化を図るため、総務・広報委員会活動を強化し、調整機能を高めまします。また、地域班は、会員相互及びセンターと会員との緊密な連絡体制を整えるために編成されております。そこでは、地域の活動に積極的に参加し、センターのPRを行い、需要を掘り起こし就業開拓につなげていきます。

③事務局体制の充実と効率化

限られた人員での業務なので、効率化、集中化を推進します。

長年にわたり従事しているため、惰性にならないよう、各種職員研修を受講し、常に自己研鑽に励みます。

(6)有料職業紹介事業の実施

シルバー人材センターでは、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の雇用による就業を希望する市内の高齢者に対して、有料職業紹介による就業機会の提供を、行っていきます。

公益社団法人 村山市シルバー人材センター
令和2年度 収支予算書
(令和2年 4月1日～令和3年 3月31日)

(単位:円)

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	68,300,000	68,300,000	0	
受取配分金	60,000,000	60,000,000	0	
受取材料費等	2,300,000	2,300,000	0	
受取事務費	6,000,000	6,000,000	0	
労働者派遣事業等受託収益	1,142,000	1,142,000	0	
労働者派遣事業等受託収益	1,142,000	1,142,000	0	
受取会費	600,000	600,000	0	
正会員受取会費	600,000	600,000	0	会費200名
受取補助金	14,200,000	14,200,000	0	
受取連合交付金	7,100,000	7,100,000	0	県補助金
受取市補助金	7,100,000	7,100,000	0	市補助金
活性化推進事業受託収益	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
特定資産運用益	1,000	1,000	0	
特定資産受取利息	1,000	1,000	0	定期預金利息
雑収益	2,000	2,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	普通預金利息
雑収益	1,000	1,000	0	
経常収益計	84,245,000	84,245,000	0	

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
(2)経常費用				
事業費	83,364,000	83,180,000	184,000	
支払配分金	60,000,000	60,000,000	0	
支払材料費等	2,300,000	2,300,000	0	
給料手当	12,400,000	13,100,000	△ 700,000	職員3名
臨時雇賃金	1,587,000	1,000,000	587,000	臨時1名
法定福利費	2,400,000	2,476,000	△ 76,000	社会保険料等
退職給付費用	933,000	713,000	220,000	退職金掛金 9月分～基金分
福利厚生費	32,000	24,000	8,000	健康診断等
旅費交通費	250,000	150,000	100,000	各委員会、職員旅費
通信運搬費	520,000	520,000	0	電話料金等
減価償却費	17,000	17,000	0	
会議費	50,000	50,000	0	
消耗品費	341,000	341,000	0	事務用品、ガソリン等
修繕費	30,000	30,000	0	
印刷製本費	150,000	150,000	0	就業報告書等
光熱水料費	253,000	253,000	0	水道・電気料金等
賃借料	895,000	895,000	0	
保険料	400,000	600,000	△ 200,000	団体傷害保険料 @1,640×200人 ラス賠償責任保険分 プ
租税公課	200,000	200,000	0	消費税
負担金	50,000	50,000	0	会議等お茶代
委託費	496,000	251,000	245,000	保守・広告料
支払手数料	40,000	40,000	0	振込手数料等
雑費	20,000	20,000	0	

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
管理費	881,000	1,065,000	△ 184,000	
役員報酬	120,000	300,000	△ 180,000	役員報酬
給料手当	115,000	130,000	△ 15,000	
法定福利費	23,000	25,000	△ 2,000	
退職給付費用	11,000	8,000	3,000	退職金掛金 9月分～基金分
福利厚生費	2,000	1,000	1,000	
会議費	5,000	5,000	0	総会お茶
旅費交通費	60,000	60,000	0	役員旅費
減価償却費	1,000	1,000	0	
通信運搬費	30,000	30,000	0	
消耗品費	23,000	23,000	0	
修繕費	20,000	20,000	0	
印刷製本費	53,000	53,000	0	総会資料
光熱水料費	16,000	16,000	0	
賃借料	50,000	50,000	0	総会会場
委託費	27,000	18,000	9,000	
支払負担金	200,000	200,000	0	連合会費等
支払手数料	5,000	5,000	0	振込手数料等
雑費	20,000	20,000	0	
支払利息	100,000	100,000	0	短期借入金利息
經常費用計	84,245,000	84,245,000	0	

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
評価損益等調整前				
当期経常増減額	0	0	0	
基本財産評価損益等			0	
投資有価証券評価損益等			0	
評価損益等計			0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部			0	
(1) 経常外収益			0	
固定資産売却益			0	
			0	
経常外収益計			0	
(2) 経常外費用			0	
固定資産売却(除却)損			0	
			0	
経常外費用計			0	
当期経常外増減額			0	
他会計振替額			0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	2,421,072	2,784,849	△ 363,777	
一般正味財産期末残高	2,421,072	2,784,849	△ 363,777	
II 指定正味財産増減の部			0	
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			0	
指定正味財産期末残高			0	
III 正味財産期末残高	2,421,072	2,784,849	△ 363,777	

収支予算内訳表に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込み

(単位:円)

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
【投資活動収支の部】				
特定資産取崩収入			0	
減価償却引当資産取崩収入			0	
財政運営資金積立資産取崩収入	5,000,000	5,000,000	0	
投資活動収入計	5,000,000	5,000,000	0	
<投資活動支出>				
特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	17,000	17,000	0	
財政運営資金積立資産朱地区支出	5,000,000	5,000,000	0	
投資活動支出計	5,017,000	5,017,000	0	
【財務活動収支の部】				
<財務活動収入>				
借入金収入				
短期借入金収入	5,000,000	5,000,000	0	
財務活動収入計	5,000,000	5,000,000	0	
<財務活動支出>				
借入金返済支出				
短期借入金返済支出	5,000,000	5,000,000	0	
財務活動支出計	5,000,000	5,000,000	0	

2.令和2年度における短期借入金借入限度額は1,000万円とする。

3.OA器「東芝Theしるばー」のリース契約により、当年度は850,176円の債務を負担する。

4.配分金収入の増加に連動する支出(支払配分金支出、支払材料費等支出)に限り、予算額を超えて執行することができる。